

賛助及びサポーター会員規約

一般社団法人 日本防犯危機回避協会(以下、当法人)の賛助及びサポーター会員(以下、会員)規約を以下のとおり定める。

(目的)

第1条 当法人は、防犯及び危険回避を社会に普及させることを目的とし、本規約は、会員との間に賛助及びサポーター会員制度の運営等について必要な事項を定めるものとする。

(会員の定義)

第2条 賛助会員とは、当法人の目的及び活動に賛助し、支援する意思をもつ個人及び団体の会員をいい、サポーター会員とは、当法人の目的及び活動に賛同した個人又は企業、団体をいう。また、賛助会員については、当法人から業務についての紹介及び会員相互のマッチング等を行う場合がある。

(議決権)

第3条 会員は、当法人の総会における議決権は持たない。

(入会)

第4条 当法人への会員入会に当たっては、本規約を承認のうえ、別に定める入会申込書により当法人に申し込むものとし、身分証明書(顔写真付きのものまたは、顔写真がないものに関しては身分が証明できるもの2点以上)を提出する。当法人は、入会申込時に届出た内容に基づき当法人所定の審査し、届出事項に虚偽のものがあつた場合や、入会申込書に公序に反する行為があつた場合等、当法人が入会を不相当と判断した場合には入会申込を承認しないことがある。そのことについて、個別の非承認に際し、その理由を示す必要がないものとする。また、入会申込時に会費を納入し、その後当法人が入会を承認しなかつた場合、納入した会費は全額返金するものとする。

(届出事項の変更)

第5条 会員は、入会申込時に届出た内容に変更があつた場合、速やかに当法人に届出るものとし、それ以後も同様とする。賛助及びサポーター会員が前項により届出を怠つた場合に賛助及びサポーター会員に生じた損害について、当法人は当法人の故意または過失による場合を除き、いかなる責任も負わないものとする。

(会費)

第6条 会員は、年会費として、毎年以下の金額を支払うものとする。

賛助会員 年会費1口 50,000円

サポーター会員 年会費1口 10,000円

会費は、初年度入会申込時に支払うこととし、次年度以降は当法人発行の請求書による全期一括払いとする。

(会員資格の有効期間)

第7条 会員資格の有効期間は、入会承認日の翌月1日から起算し、12月31日までとする。ただし、入会承認日から会員資格の有効期間の初日までの期間については、特典を受けられるものとする。

2 前項に定める有効期間は、会員または当法人から特に申出がない限り、満了日の翌日から1年間延長するものとし、以後も同様とする。

3 会員資格は、第三者に譲渡したり、使用させたり、担保権の設定等を行ったりすることはできない。

(会費等拠出金品不返還)

第8条 会員がすでに納入した賛助会費及び拠出金品は、これを返還しない。

(会員情報等の取扱い)

第9条 当法人は、当法人が保有する、会員が入会申込時に届出た賛助及びサポーター会員に関する情報(第6条により変更された情報も含む)を厳正に管理し、その保護のために必要な措置を適切に講ずるよう努める。

2 当法人は、会員情報を、本人又は団体に同意を得ずに当法人の活動以外の目的に利用しないこととする。

3 当法人は、前項のほか、以下の場合を除き賛助会員情報を第三者に提供しないものとする。

(1)あらかじめ当該会員情報にかかる賛助会員の同意が得られた場合

(2)法令により開示を求められた場合

(3)個別の会員を識別できない状態で提供する場合

4 会員は、自身の会員情報の開示・訂正の請求を随時行えるものとする。その場合は、当法人所定の様式にて当法人に届出るものとする。

5 当法人は、当法人による賛助会員資格の取消または会員の退会から1年間を経過したときは、会員情報を破棄できるものとする。

(会員資格の喪失)

第10条 会員が次の各条項に一つでも該当するに至った場合、賛助及びサポーター会員に事前に通知又は催告することなく当法人の賛助会員資格を直ちに喪失することができるものとする。この場合、既に納入された会費の払い戻しは一切行わない。また、第三者への会員資格の継承はできない。

- (1)定款第10条に定めるいずれかに該当する場合
- (2)会員が入会申込時および届出事項変更時に虚偽の事項を届出したことが判明した場合
- (3)会員が会費の支払、その他当法人に対する債務の履行を怠った場合
- (4)当法人の名誉を著しく傷つける行為、または会員としての品位を損なう行為があったと当法人が認めた場合
- (5)法令もしくは公序良俗に反する行為を行った場合
- (6)政治的、宗教的な目的で利用していると認められる場合
- (7)その他、当法人が会員として不適当と認める相当の事由が発生した場合

(会員の退会)

第11条 会員は退会する場合、当法人の定款第8条に定めるとおりとする。ただし、その場合、既に納入された会費の払い戻しは一切行わないものとする。また、未払いの会費がある場合には、会員は、退会後も当法人に対する未払い分の支払いを免れないものとする。

(禁止事項)

第12条 会員は、当法人による活動にあたり、以下に掲げる行為を行ってはならないものとする。

- (1)他の賛助及びサポーター会員、正会員、第三者もしくは当法人の財産及びプライバシーを侵害する行為、または侵害する恐れのある行為
- (2)他の賛助及びサポーター会員、正会員、第三者もしくは当法人に不利益や損害を与える行為、またはそれらの恐れのある行為
- (3)公序良俗に反する行為若しくはその恐れのある行為
- (4)犯罪的行為もしくは犯罪的行為に結びつく行為またはその恐れのある行為
- (5)当法人の運営・活動を妨げる行為及び信用を毀損する行為
- (6)営業活動や営利目的、またその準備を目的とした行為(当法人が承認した場合を除く)
- (7)その他、不適切と判断される行為

(賛助会員の遵守事項)

第13条 会員は、本規約に定める事項を誠実に遵守するほか、下記の事項を遵守するものとする。

(1)当法人の実施事業を通じて提供される情報等を、不正の目的をもって利用しないものとする。

(2)当法人の実施事業を通じて提供される情報等の知的財産権は、当法人または当該情報等の著作者か著作権を有する当法人以外の法人もしくは個人に帰属する。賛助会員は当該情報の複製・販売等により、当該知的財産権を侵害してはならないものとする。

(反社会的勢力の排除)

第14条 会員は、現在、暴力団等に該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとする。

2 会員は、いかなる場合も当法人及びその関係者等に関し、次の事項を行わないこととする。

1.暴力的な要求行為

2.法的な責任を超えた不当な要求行為

3.風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当法人の信用を毀損し、または当法人の業務を妨害する行為

4.脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為

5.その他前各号に準ずる行為賛助会員が、前項各号のいずれかに該当する行為をし、または第1項の規定に基づく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明し、当法人が当法人の賛助会員として不適切であると判断した場合には、当法人は、当法人からの書面による通知により賛助会員資格を取消することができるものとする。

3 本条による会員資格取消の場合、会員が当法人に対して支払った会費は一切返却しないものとする。

(免責事項)

第15条 当法人は、会員が被ったいかなる損害についても損害を賠償する責任を負わないものとする。会員が他の会員、第三者に対して損害を与えた場合、会員は自己の責任と費用をもって解決し、当法人に損害を与えることのないものとする。ただし、会員が本規約に反した行為、または不正もしくは違法な行為によって当法人に損害を与えた場合、当法人は当該会員に対して相応の損害賠償の請求を行うことができるものとする。

(準拠法)

第16条 本規約の成立・効力・履行および解釈に関しては、日本国法が適用されるものとする。

(管轄裁判所)

第17条 当法人と会員との間で問題が生じた場合には、両者誠意をもって協議するもの

とする。協議によっても解決しない場合、また訴訟の必要が生じた場合は、当法人の所在地を管轄する裁判所を賛助会員と当法人の専属的合意管轄裁判所とする。

(規約変更)

第18条 当法人は、円滑な運営のために必要と判断される場合、理事会の議決を経て、本規約を変更することがある。当法人は、賛助及びサポーター会員規約条文の変更・改正・削除を行った場合は、会員が閲覧できる状態にしなければならない。

(附則)

1. 本会員規約は、2019年3月1日から施行するものとする。

・令和2年9月 日 第2、4、6条一部改訂